

グローバル教育・学生支援棟本格始動

文教キャンパスの多機能センター

4F 文教スカイホール

講義、研究発表、サークル活動にもフル稼働。

これがクリッカー。手元で意思表示でき、集計やアンケートも簡単にできる最新機器です。



文

教キャンパスの中心、環境科学部棟のすぐ隣にできた新棟が、昨春秋、本格的に稼働しはじめました。このグローバル教育・学生支援棟、四階建てで各フロアでまったく異なる機能と役割をもっています。長崎大学のなかで特に必要とされているものがぎゅっと詰まった新棟なのです。その中身をご紹介します。

一階 学生支援センター

学生のためのサービスや情報提供が行われるこのフロア。生活、課外活動などの支援コーナー、学生なんでも相談室、やってみようでスク（P5に関連記事）、学生同士のサポートシステム「ピア・サポート」スペースなどが配置され、ワンストップで情報収集できます。授業が終わるとたくさんの学生が入りしています。

二階 リエゾン機構

これまで正門そばの建物にあった留学生センターと国際交流課が統合し、国際教育リエゾン機構が設置されました。留学生に関するさまざまな手続き、日本語学習のレッスンなども行われます。すぐそばの交流プラ

三階 アクティブラーニング教室

このフロアの特徴はアクティブラーニング仕様の教室があること。アクティブラーニングとは、学生参加型授業のことで、グループで話し合ったり、プレゼンテーションなどがしやすい環境が整っているのです。通常の教室は座学を想定した数人掛けの固定机で、学生は教員の方を向いています。しかし、ここでは一人一人の机で簡単に動かすことができるのでグループごとで集まりやすく、いろいろな授業形態が可能になります。しかも四方にホワイトボードがあり、プロジェクトも多いので、同時に複数のプレゼンテーションの練習ができます。学生の反応が即座に示されるクリッカーとよばれる手元操作の投票スリッチなど、最新機器もそろっており、学生が主体的に参加して、表現する授業が展開されます。もちろんWi-Fi仕様のLANが敷かれ、来年度の新生からパソコン必修となるので、こういった最新デジタル設備の整った教室は必要不可欠です。

3F アクティブラーニング教室

グループでのプレゼンテーションなど学生参加型の授業がしやすくなりました。



教養教育におけるアクティブラーニングのようす。社会で活躍する人のインタビュー記事を素材し、グループごとにプレゼンをしてクリッカーで投票。表現力を身に付けていきます。このほか、机を取り払い、身体全体で表現する授業も行われています。

1F 学生支援センター

ふだんの生活の「困った」はここで解決。情報収集もできます。



ピア・サポートの一角は可愛い赤いシート。



四階 文教スカイホール

最上階には小規模ながら最新設備のホールが誕生しました。文教スカイホールと名付けられ、講義だけでなく研究発表や学生のサークル活動などに利用されています。席数は二六二席。モニター二台、大型ディスプレイ四台を完備し、別々の画面を流

すこともできます。高さのあるステージは客席から見やすく、長時間座っていても疲れにくいしっかりとしたシート。文教キャンパスは、これまで七〇〇名収容の中部講堂に利用が集中していたのですが、文教スカイホールの誕生で、人数に応じて使い分けることができるようになりました。

2F 国際教育リエゾン機構

留学生が集うフリースペースも完備。日本人学生との距離もぐっと身近に。

